

編  
帳

譯

合  
論

之  
古

法  
著

二

編

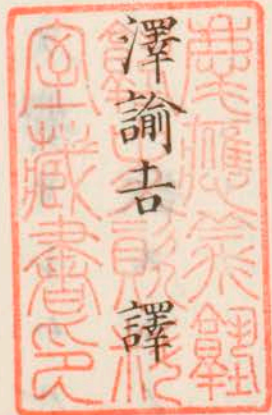
四



帳合之法卷之四

譯者附言

福



此書初編二冊ニ略式ヲ譯シ二編二冊ニ本式ヲ譯シ終  
ラントノ趣向ナリシガ本式ニハ四様ノ例アリテ其文  
モ長クコレヲ二冊ノ紙ニ記ス可ラズ且其四例ノ内最  
モ精密ナルモノハ第二例ニシテ其余ハ皆大同小異ノ  
ミ殊ニ其第三例ノ如キハ略式ノ第三例ヲ本式ニ改メ  
タルノミノモノナレバコレヲ省クモ妨アルナシ今  
コレヲ盡ク出版シテ本ノ紙數ヲ増シ大同小異ノ事ヲ



記スガタメニ譯書ノ價ヲ貴クシテ讀ム者ヲ倦マシメ  
 ンヨリ先ツ初ノ二例ヲ示ス方却テ便利ナル可シト思  
 ヒコヽニ至テ最初ノ趣向ヲ變シ本書ノ上卷ニ第一例  
 ヲ譯シ下卷ニ第二例ヲ譯シ上下二卷ヲ以テ二編ト為  
 シタルナリ學者若シコレヲ見テ不足ナリトセバ其需  
 ニ應ジテ尚未ノ二例ヲモ出版ス可シ譯者決シテ出版  
 ノ勞ヲ厭フニ非ズ唯速ニ世間ノ用ヲ達スルニ切ナレ  
 バ無益ニ本ノ体裁ヲ作テ多ク世人ニ錢ヲ費サシムル  
 ヨリモ其費ヲ少クシテ事實ノ便ヲ謀ラント欲スルノ

### 第二式

朱書ヲ用ユ

日記帳、清書帳、大帳並ニ小帳ヲ用ユ大帳ヲ

切リ平均ノ表ヲ以テ其始末ヲ示シ

事ノ次第ヲ解キ明ニス但シ高賣

利益ヲ得タル有様ヲ記ス

端書

此第二式ハ前ノ第一式ト高賣ノ趣ヲ變ジタレ氏其實ハ

前式ノ續キナリ第一式ニ用ヒタル高賣品ハ残ラズ賣拂

長



其元手ヲ以テ干物食料等ヲ多分ニ仕入レ其取列ノ有  
 様ヲ示スナリ又第一式ニ於テハ高賣ノ品物ヲ一々記シ  
 一品毎ニ其名目ヲ舉ゲテ勘定ノ口ヲ設ケタレ氏第二式  
 ニハコノ名目ヲ略シテ唯品物トノミ記セリ此書方ハ高  
 賣ノ通法ニテ事柄ニハ差支ナケレ氏或ハ品物ノ種類ニ  
 從ヒ此品ニテコノ損益アリ彼ノ品ニテ彼ノ損益アリト  
 一々其品ニ就テ其損益ヲ見ントスル氏ハ品物ノ名目モ  
 一々區別シテコレヲ記サミル可ラズ氏ハ大帳  
 高賣ノ始ニ於テ正味ノ元入アルモノナレバ帳合ノ初筆  
 ニハ現在ノ元手ト拂口トヲ記サミル可ラズ故ニ第一則

二從ヒ高賣ノ主人ハ元入ノ高ヲ以テ貸ト為シ拂口ノ高  
 ヲ以テ借ト為スナリ  
 此式ニ於テ始テ諸口ト云フ文字ヲ用ヒタリ諸口トハ諸  
 口勘定ト云フ義ナリ此文字ヲ清書帳ニ用レバ取引ノ  
 高ヲ大帳ニ寫スキ一々其箇条ヲ記スニ及ハズシテ手數  
 ヲ省クノ便利アリ其便ト不便ト此第二式ノ大帳ト前ノ  
 第一式ノ大帳トヲ比較シテ明ニ見ル可シ  
 大帳ノ勘定ヲ仕上ル趣意モ其仕上ケノ法モ此式ノ内ニ  
 鮮キ明ニシタレバ學者コノ一條ヲ等閑ニ看過ス可ラズ  
 抑モ舊古本ヲ以テ勘定ノ法ヲ學ブニ付キ最モ宜シカラ



ザル一ハ學者其定則ノ意味ヲ解セズシテ動モスレバ稽古本ノ体裁ノミヲ書キ寫シ形ヲ以テ試業ヲ遂ゲントスルノ一事ナリ其定則ヲ知ラザレバ其形ヲ作ルモ實ニ益アルナシ

第二式ノ帳合ヲ以テ示シタル高賣ノ趣ヲ見レバ此帳合ノ体裁ハ實ニ生徒ノタメニハヨキ手本ニテ慕ヒ學ブ可キモノト云フ可シ就中コ、ニ朱書ヲ用ヒタルハ十分ニ教ヲ明ニシテ其事ヲ解シ易カラシメンガ為ナリ概シテ云ヘバ此式ハ本式ノ帳合ノ高上シタル真面目ナルユエ生徒モコレヲ學ブニ深ク意ヲ用ヒザル可ラザルナリ

明治六年  
二月一日  
記帳

東京三田

今日左ノ元手ト拂口トヲ以テ高賣ヲ始メ  
タリ即チ前式ノ大帳ヨリ集メタル高ナ  
リ(三十九丁ヲ見ル可シ)  
元手

有金

八二七。

手形

一〇五。

河内屋ノ勘定

六七五。



甲州屋ノ勘定

六〇〇〇  
一七〇七〇

拂口

拂口手形

八五〇〇

山城屋ノ勘定

六〇〇〇

尾張屋同断

七五〇

駿河屋同断

八二五〇

一日

一五五〇〇

相摸屋ヨリ買入代現金

なじ砂糖 十樽六石

四〇セク

二四〇

白砂糖 十樽九千五百斤

五セ

四七五

コッヒイ 千五百七十九斤

一六セ

二五二

城州茶 千八十斤

五〇セ

五四〇

安南米 千五百斤

四セ半

二二五

二日

一、七三二

武藏屋へ賣渡代掛

なじ砂糖 三升

五〇セク

一、五〇

白砂糖 二百斤

六セ

一二

コッヒイ 百五十斤

一六セ

二四

三七五〇

安房屋へ賣渡三十日限手形請取

三日



白砂糖 二千百斤 六セ久 一二六

城州茶 五百四十斤 五五セ 二九七

三日

尾張屋へ差引濟切心金拂

四日

上總屋へ賣渡代拭

なじ砂糖 一石二斗 四五セ久

五日

下總屋ヨリ買取六十日限此方ノ手形渡ス

油 十樽四百斤 一三セ久 五二

七五〇

四二三

五四

石鹼 千四百斤 七セ 九八

豚肉 千斤 一〇セ 一〇〇

ク

野州屋へ賣渡代現金

豚肉 四百斤 一〇セ半久 四二

安南米 五百斤 五セ 二五

六日

岩城屋へ賣渡代拭

安南米 千斤 五セ半久 五五

コッヒイ 百五十斤 一八セ 二七

二五〇

六七

八二



岩代屋ヨリ買取代現金

芋 十俵

バター 十斤

奥州屋へ賣渡代現金

コッヒイ 十斤

石鹼 二百十斤

仙臺屋ヨリ買取代現金

白砂糖 一万斤

六日

一八〇

田三〇〇

一八七

七日

一八七

八日

八日

五セク

二九

一八〇

三〇

一八〇

一八〇

一八〇

一六八〇

一六八〇

五五〇

二一〇

一八六〇

同別々 三子七百斤

南部屋へ賣渡代掛

白砂糖 子九百七十斤

駿河屋へ差引金渡

駿河屋へ賣渡代掛

豚肉 二子斤

コッヒイ 百十斤

五七半

二〇三五〇

七五三五〇

九日

六セク

十日

四〇〇〇

一一八二〇

十二日

一一セク

二二

一八セ

一九八〇



白砂糖 九百斤 一六七 五四八 九五八〇

十三日

津輕屋へ賣渡代掛

バタ 百斤 二五七之 二五

芋 一俵 四 二九

十四日

南部屋へ賣渡代掛

コッヒイ 十斤 一八七之 一八〇

バタ 五拾斤 二五七 一二五〇

白米 五拾斤 五七半 二七五 一七〇五

家賃心金拂 十五日 一〇〇

ク

秋田屋へ賣渡代現金

バタ 百五十斤 二五七之 三七五〇

十七日

上總屋ヨリ差引濟切心金請取

十八日

武藏屋へ賣渡代掛

上茶 二十五斤 五六七之 一四

油 五十斤 一五七 七五〇

五四



白米 二十斤

五七

一

二二五〇

二十日

河内屋へ賣渡代掛

豚肉 四百斤

一一七之

四四

廿二日

會津屋へ賣渡代掛

上茶 五十四斤

六〇七之

三二四〇

廿三日

甲州屋ヨリ差引濟切請取

正金

三〇〇〇

九十日限手形

三〇〇〇

六〇〇〇

廿五日

山城屋へ差引正金渡

ク

三〇〇〇

尾張屋へ賣渡代掛

たゞし砂糖 一石二斗

四四二七之

註四十四錢三分ノ二ト云フヤ

五三六〇

廿六日

米澤屋渡り此方ノ手形引替正金拂

ク

五〇〇

白川屋へ賣渡代現金



コッヒイ 十斤 一九七之

山城茶 十斤 五〇セ

白米 五十斤 七セ

長岡屋へ賣渡代現金 廿七日 三、五〇

米 五百斤 六セ之

芋 二俵 廿八日 三〇

書役給料正金拂 廿八日 六

五六一九八〇五

一〇〇

三六

一〇四〇

五六一九八〇五

第二式 明治六年 清書帳

東京三田

諸口借 元入へ

一七〇七〇

正金 八二七〇

請取口手形 一〇五〇

河内屋 一七五〇

甲州屋 六〇〇〇

元入借 諸口へ 一五五〇〇



拂口手形へ

山城屋へ

尾張屋へ

駿河屋へ

一日

借

一七三二

正金へ

二日

借

三七五〇

品物へ

三七五〇

武藏屋

手

五〇〇

六〇〇

七五〇

八二五〇

六七三二

三日

借

四二三

品物へ

四二三

借

七五〇

正金へ

七五〇

四日

借

五四

品物へ

五四

上總屋

手

五日

借

二五〇

品物

二五〇







六丁	十二	十二	十二	十二	十二
品物へ	南部屋	津輕屋	駿河屋	品物へ	品物へ
	借へ	借へ	借へ	借へ	借へ
		十四日	十三日		十二日
	一七〇五	二九	九五八〇		
					四、〇〇〇
	一七〇五	二九	九五八〇		

十三	四丁	四丁	六丁	十一	十二
雜費	品物へ	品物へ	品物へ	品物へ	武藏屋
借	借	借	借	借	借
十五日		ク	十七日	十八日	
一〇〇	三七五〇		五四	二二五〇	
	一〇〇		三七五〇	五四	



六丁	三丁	七丁	十三丁	七丁	三丁	四丁
品物へ	河内屋	借	品物へ	會津屋	借	品物へ
二十日	廿二日	廿三日	廿三日	廿三日	廿三日	廿三日
二二五。	四四	三二四。	三二四。	三二四。	三二四。	三二四。
二二五。	四四	三二四。	三二四。	三二四。	三二四。	三二四。
二二五。	四四	三二四。	三二四。	三二四。	三二四。	三二四。

二丁	八丁	四丁	九丁	七丁	八丁	五丁
請取口手形	山城屋	借	品物へ	尾張屋	借	品物へ
廿五日	廿五日	廿五日	廿五日	廿六日	廿六日	廿六日
三〇〇。	三〇〇。	三〇〇。	三〇〇。	五三六。	五三六。	五〇〇。
三〇〇。	三〇〇。	三〇〇。	三〇〇。	五三六。	五三六。	五〇〇。
三〇〇。	三〇〇。	三〇〇。	三〇〇。	五三六。	五三六。	五〇〇。



帳合之簿  
類之口

廿六日

五寸  
心金

借入

一〇四〇

五寸  
心金

品物入

一〇四〇

廿七日

五寸  
心金

借入

三六

五寸  
心金

品物入

三六

廿八日

十三  
雜費

借入

一〇〇

五寸  
心金

心金入

一〇〇

五一一九八〇五五一一九八〇五

第 二 式

# 大帳

借

## 元入

貸

明治  
六年

二月一日  
諸口入

平均入

丁一

一五五〇〇

二一〇三五

一七六〇三五

明治  
六年

二月一日  
諸口入

損益入

丁一

一七〇七〇

五三三五

一七六〇三五

帳合之簿

類之口



借

請取口手形

貸

明治 六月

二月 一日

元入へ

一、〇五〇

明治 六月

二月 八日

平均

四、四七三

ク 三日

呂物へ

四二二

ク 廿三日

甲州屋へ

三、〇〇〇

四、四七三

丁九 丁三 丁一

四、四七三

借

大助

四、四七三

借

河内屋

貸

明治 六月

二月 一日

元入へ

一、七五〇

明治 六月

二月 八日

平均

一、七九四

ク 廿日

呂物へ

四四

借

一、七九四

一、七九四

丁八 丁一

借

甲州屋

貸

明治 六月

二月 一日

元入へ

六〇〇

明治 六月

二月 廿三日

諸口ニテ

六〇〇

丁一

丁八



中舎之簿  
卷之四

借

ク	ク	ク	ク	ク	ク	二月	六	明治
六廿	三廿	七十	五十	日七	日五	日一		
品物へ	甲州屋へ	上總屋へ	クへ	クへ	品物へ	元入へ		
丁十	丁八	丁七	丁七	丁五	丁四	丁一		
一〇四〇	三〇〇	五四	三七五〇	一八六〇	六七	八二七〇		
ク	ク	ク	ク	ク	ク	二月	六	明治
五廿	五十	日十	日八	日六	日三	日一		
山城屋ニテ	雑費ニテ	駿河屋ニテ	ク	品物ニテ	尾張屋ニテ	品物ニテ		
丁九	丁七	丁六	丁五	丁四	丁三	丁二		
三〇〇〇	一〇〇	四〇〇	七五三五〇	二一〇	七五〇	一七三二		

正金

貸

長八高之簿  
卷之四

借

ク	二月	六	明治	ク	ク	ク	ク	ク
日五	日一			七廿				
拂口手形へ	正金へ			ク				
丁三	丁二			丁十				
二五〇	一七三二			三六				
ク	二月	六	明治	ク	ク	ク	ク	ク
日三	日二			六廿	八廿	六廿		
請取口手形ニテ	武藏屋ニテ			平均ニテ	雑費ニテ	拂口手形ニテ		
丁三	丁二			丁十	丁九			
四二三	三七五〇			三四八	一〇〇	五〇〇		

品物

貸



帳合之簿  
卷之四

二月	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	二月				
日六	日八	日八	日八	日八	日九	日七	日六	日五	日四	日四				
正金へ	ク	ク	ク	ク	駿河屋ニテ	南部屋ニテ	正金ニテ	岩城屋ニテ	正金ニテ	上總屋ニテ				
					丁八	ク	ク	丁六	ク	丁五	ク	丁四	丁三	
					二二五。	三七五。	一七〇五	二九	九五八。	一一八二。	一八六。	八二	六七	五四

ク 八廿 損益へ

丁五 丁四

七三三。五

七五三五。

二一。

帳合之簿  
卷之四

二月	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	二月
日六	日八	日八	日八	日八	日九	日七	日六	日五	日四	日四
正金へ	ク	ク	尾張屋ニテ	會津屋ニテ	河内屋ニテ					
			ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク
			一〇四。	五三六。	三二四。	四四				

三六七八五五

ク 八廿 平均ニテ (残品)

ク 七廿

ク 六廿

ク 五廿

ク 二廿

ク 十二

丁十

丁九

ク

ク

二五〇。

三六

一〇四。

五三六。

三二四。

四四



帳合之簿  
卷之四

借

明治  
六

二月  
六廿  
正金へ

夕  
八廿  
平均へ

丁九

五〇〇

二五〇

七五〇

拂口手形

明治  
六

二月  
廿一  
元入ニテ

夕  
廿五  
品物ニテ

丁四 丁二

五〇〇

二五〇

七五〇

貸

借

明治  
六

二月  
五廿  
正金へ

丁九

三〇〇

山城屋

明治  
六

二月  
廿一  
元入ニテ

丁二

六〇〇

貸

帳合之簿  
卷之四

借

明治  
六

二月  
廿三  
正金へ

二月  
廿五  
品物へ

丁三

七五〇

丁九

五三六〇

尾張屋

明治  
六

二月  
廿一  
元入ニテ

二月  
廿八  
平均ニテ

丁一

七五〇

五三六〇

貸

夕  
八廿  
平均へ

六〇〇

六〇〇



帳簿之簿  
卷之四

借

明治六年

二月十日 正金へ

夕 品物へ

廿八日 平均へ

丁六 丁五

四〇〇〇

九五八〇

八三五〇〇

四一五四二〇

明治六年

二月 九八二テ

丁二

八二五〇

貸

八二五〇

借

明治六年

二月 品物へ

夕 品物へ

丁七 丁一

三七五〇

二二五〇

六〇

明治六年

二月 平均ニテ

六〇

貸

借

明治六年

二月 品物へ

丁三

五四

上總屋

明治六年

二月 正金ニテ

丁七

五四

貸

帳簿之簿  
卷之四

借

二月 品物へ

丁三

五四

上總屋

明治六年

二月 正金ニテ

丁七

五四

貸







借

明治六年二月

日六

品物へ

丁四

八二

明治六年二月

日廿

平均

八二

岩城屋

貸

借

明治六年二月

日廿

雑費へ

丁大

二〇〇

明治六年二月

日廿

品物

丁大

七三三〇五

損益

貸

元八へ

五三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

借

明治六年二月

日廿

品物へ

丁大

二五〇〇

元手

平均

拂口

貸

ク

ク

ク

ク

ク

ク

請取口手形へ

河内屋へ

正金へ

尾張屋へ

武藏屋へ

南部屋へ

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

四四七三

一七九四

三四八

五三六〇

六〇

一三五二五

明治六年二月

日廿

山城屋ニテ

駿河屋ニテ

元八ニテ

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

二五〇

三一〇〇

四一五四二〇

二一〇三〇五

三〇五

借

明治六年二月

日廿

品物へ

丁大

二五〇〇

元手

平均

拂口

貸

ク

ク

ク

ク

ク

ク

請取口手形へ

河内屋へ

正金へ

尾張屋へ

武藏屋へ

南部屋へ

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

四四七三

一七九四

三四八

五三六〇

六〇

一三五二五

明治六年二月

日廿

山城屋ニテ

駿河屋ニテ

元八ニテ

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

丁大

二五〇

三一〇〇

四一五四二〇

二一〇三〇五

三〇五







明治六年二月春帳

二十八日ノ算ノ下

元入

請取口手形

河内屋

金

品物

拂口手形

山城屋

尾張屋

駿河屋

武藏屋

南部屋

津輕屋

雜費

會津屋

岩城屋

平均ノ改

借

一五五〇

一四四七三

一七九四

一四九三五

二九四五五

五〇〇

三〇〇〇

八〇三六〇

四〇九五八〇

六〇

一三五二五

二九

二〇〇

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

仕入殘品

一七〇七〇

一、一四九五〇

一、一七八五五

七五〇

六〇〇〇

七五〇

七五〇

八〇三六〇

七五〇

八二五〇

六〇

一三五二五

二九

二〇〇

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

名目

損亡

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

七三三〇五

元入

借

一五七〇

四四七三

二七九四

三三八

六五〇

五三六〇

四一五四二

六〇

一三五二五

二九

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

元入

借

一五七〇

四四七三

二七九四

三三八

六五〇

五三六〇

四一五四二

六〇

一三五二五

二九

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

元手

借

一五七〇

四四七三

二七九四

三三八

六五〇

五三六〇

四一五四二

六〇

一三五二五

二九

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

元手

借

一五七〇

四四七三

二七九四

三三八

六五〇

五三六〇

四一五四二

六〇

一三五二五

二九

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

元手

借

一五七〇

四四七三

二七九四

三三八

六五〇

五三六〇

四一五四二

六〇

一三五二五

二九

三三四〇

八二

四五、一四四〇

五四五、二四四〇

五

パツカルド氏所用ノ平均表

此平均表ヲ作ルノ法ハ次ノ廿三丁ニ詳ナリ

元入ノ借一ニ味元高

平均ノ借一ニ味元高











定ニハ借ト貸ト平等ノ高ヲ記シタル筈ナレ共今又コノ  
 事ヲ明ニ知ラシメシガタメ左ニ平均改ノ表ヲ示スナリ

平均之改

差	大帳ノ面	大帳ノ面	差
四、四七三	六、〇〇〇	一七、七〇	一五七、〇
一、七九四	一、四九三五〇	六、〇〇〇	一、一四五五〇
三、四八	五〇〇	七五〇	二五〇
二、九	三〇〇〇	六〇〇〇	三〇〇〇
一、三五二五	八〇三六〇	七五〇	二五〇
六〇	四〇九五八〇	八、二五〇	四、一五四二〇
一、七六六九五	二、九四五	一、一七八五五	
	品物		
	拂口手形		
	山城屋		
	尾張屋		
	駿河屋		
	武藏屋		
	上総屋		
	南部屋		
	津輕屋		
	雜費		



三二四〇	三二四〇	會津屋	五二一九八〇五
八二	八二	岩城屋	八九七四二〇
八九七四二〇	五二一九八〇五	平等付合	五二一九八〇五

此平均改ノ体裁ハ用ヲ為ス一最モ廣クシテ我輩ノ称譽  
 スル所ノモノナリ大帳ノ面ト記セル箇条ノメ高ハ正シ  
 ク日記帳清書帳ノメ高ニ符合スルユエ都テ取引ノ扣ハ  
 大帳へ寫シテ洩ル、一ナカリシ證據ヲ見ル可シ差ト記  
 セル箇条モ双方互ニ平均シテ勘定ニ間違ナキ證據ト為  
 ルナリ  
 右ノ如ク取引ノ扣ヲ大帳へ寫ス一ニ就テハ少シモ間違

ナカリシユエ今コ、ニテ大帳ノ勘定ヲメ切ル仕方ヲ説  
 ク可シ抑モ大帳ヲメ切ルノ趣意ハ我商賣ノ今ノ有様ト  
 其盛衰ノ變ヲ見シガタメナレバ此大趣意ヲ忘ル可ラズ  
 但シ商賣ノ有様ハ元手ト拂口トノ高ヲ以テ見ル可ク其  
 盛衰ノ變ハ利益ト損亡トノ多少ニ由テ知ル可キナリ  
 大帳ノ面ニ見ハレタル事柄ヲ細ニ吟味スル氏ハ左ノ區  
 別ヲ發見ス可シ即チ元手ノ高ハ事實ノ勘定ニ見ハレタ  
 ル借ノ方ノ過剩ニ由テ知ル可ク拂口ノ高ハ其貸ノ方ノ  
 過剩ニ由テ知ル可シ損亡ノ高ハ名目ノ勘定ニ見ハレタ  
 ル借ノ方ノ過剩ニ由テ知ル可ク利益ノ高ハ其貸ノ方ノ



過剩ニ由テ知ル可シ故ニ此二箇条ヲ以テ勘定ノ口ヲ立  
 ルモ自カラ其理アルナリ即チ其一ハ元手ト拂口トヲ示  
 シ其二ハ損亡ト利益トヲ示スモノトス大帳ノ面ニテハ  
 此二箇条ノ勘定ヲ損益並ニ平均ト名ケテ兩様ニ口取ノ  
 場所ヲ立テ損益ノ口ニハ名目ノ勘定ヲ記シ平均ノ口ニ  
 ハ事實ノ勘定ヲ記スナリ右ノ如ク勘定ノ口々ヲ定メテ  
 コレヲノ切ルノ一段ニ至リ尚注意ス可キ一事アリ即チ  
 其一事トハ品物ノ勘定是ナリ品物ノ勘定ハコノ大帳ノ  
 面ニテ借ノ方ニ過剩アリ故ニ品物ヲ残ラズ賣拂ヒシ上  
 ニテ此勘定ナレバ品物ノ賣買ニ付キ損亡ヲ生ジタル訳

ナレハ大帳ノ勘定ノミニテハ品物ヲ残ラズ賣拂ヒシヤ  
 否ハ知ル可ラズ其事實ヲ明ニスルニハ現在ノ仕入残品  
 ヲ調べテ其代金ヲ定メザル可ラズ残品ノ代金ヲ定レバ  
 品物ノ勘定口ハ其代金ノ高ヲ以テ貸ト為シ平均ノ勘定  
 口ニハコノ高ヲ以テ借ト為スナリ斯ノ如クシテ後ニ品  
 物ノ勘定口モ實ノ損益ヲ見ハスヲ得ルナリ此大帳ニテ  
 残品ノ代金ヲ二千五百圓ニ積リ品物ノ勘定口ニハ此高  
 ヲ朱書ニテ貸ノ方ニ記シ平均ノ勘定口ハ直ニコレヲ  
 借ノ方ニ記セリ諸勘定ノ口々右ノ如クシテ始テノ切り  
 ノ有様ヲ得タレバ其順序ニ從テコレヲ記ス可シ○元入



ハ主人ノ勘定ナリコレニ次ク第一ノモノヲ請取口手形  
 トス此勘定ハ我手元ニアル他人ノ手形ヲ以テ元手ト為  
 スモノナリ故ニ借ノ方ニ見ハレタル高ハ請取タル手形  
 ノ高ナリ貸ノ方ニ見ハレタル高ハ引替ル状又ハ他ニ用  
 ヒタル手形ノ高ナリコレヲメ切ルノ法ハ朱書ヲ以テ借  
 貸ノ差ヲ貸ノ方ニ記シ双方共ニ高ヲシメテ其メ高ノ下  
 ニ朱ノ線ヲ引キ平均ニテト記シタル高ハ直ニ平均ノ勘  
 定口ニ移スナリ其次ハ河内屋ノ勘定口ナリコレヲメ切  
 ルノ法前ノ如シ其次ハ甲州屋ナリ此勘定ハ既ニ差引平  
 均ロシユエ唯朱ノ線ヲ引クノミ其次ハ正金ノ勘定口ナ

リコレヲメ切ルノ法ハ請取口手形ノ如クシ平均ノ差ハ  
 元手トシテ平均ノ勘定口へ移スナリ品物ノ勘定口ニハ  
 利益ヲ見タルユエ其平均ノ差ハ損益ノ勘定口ノ貸ノ方  
 へ移スナリ拂口手形ノ勘定口ハ我引負拂口ノ高ヲ示ス  
 モノニテ其平均ノ差ハ平均ノ勘定口ノ貸ノ方へ移スナ  
 リ山城屋ノ勘定口モ亦引負拂口ノ高ヲ示スモリ其  
 平均ノ差ハ平均ノ勘定口ノ貸ノ方へ移スナリ尾張屋ノ  
 勘定口ハ我元手ノ高ヲ示スモノニテ其平均ノ差ハ平均  
 ノ勘定口ノ借ノ方へ移スナリ駿河屋ノ勘定口ハ我引負  
 テ平均ノ貸ノ方へ移スナリ武藏屋南部屋津輕屋ノ勘



定口ハ何レ在我元手ノ高ニテ平均並借方へ移スナリ  
 雜費並勘定口ハ損亡ヲ示スモ總計並損益並勘定口ハ借  
 方へ移スナリ會津屋岩城屋ノ勘定口ハ二口共ニ我元  
 手ニテ平均並借方へ移スナリ  
 (原註)都テ大帳ニ記シタル朱書ハ此勘定口ヨリ他ノ勘  
 定口へ移ス歟又ハ同シ勘定口ニテモ一度ニ記シテ又  
 重テ其勘定中ノ他ノ場所へ移ス可キ箇条ノ印ナリ又  
 味コノ朱書ハ唯大帳ノニニ始テ見ハレ他帳ヨリ寫シ来  
 タルモノニ非ザルヲ印ナリ又コノ朱書ハ借貸ノ過剩  
 ナ示スモハナルニエ必ズ借貸相反對シタル方へ移ス

可キモノナリ  
 右ノ趣向ニテ損益ト平均トノ勘定口ニ見ハレタル二箇  
 条ハ悉皆其始末ヲ得タルユエ其平均ノ差ヲ移スニ付キ  
 間違アラザレバコノ二箇条ノ勘定ト元入ノ勘定トヲ合  
 シテ必ズ平等付合ノ數ヲ得ル筈ナリコレヲ試ルタメニ  
 ハ此三箇条ノ平均改ノ表ヲ作ル可シコレヲ第二平均ノ  
 改ト名ク

# 第二平均之改

元入

借 貸

一五、五〇。

一七、七〇。

長  
長  
長



損益

平均

第二平均

一五二。〇	九五。七二五	二五、二。七二五	七三三。五
七三三。五	七四。四二。	二五、二。七二五	二五、二。七二五

右第二平均ノ改ヲ以テ試ミタルニ平均ノ差ヲ移スニ付  
 キ間違モナカリシユエ乃チ損益ノ勘定口ヨリ正味ノ利  
 益ヲ取テコレヲ元入ノ勘定口ニ移シ以テ大帳メ切ノ大  
 趣意ヲ終ル可シ元入ノ勘定口へ此利益ヲ加ヘタレバ其  
 元金ノ高ハ以前ヨリモ増シタリコノ増シタル高ハ即チ  
 現在身代ノ高ナリコノ高ヲ平均ノ勘定口ニ記シテ勘定  
 ナメ切ルキハ其勘定ノ平等付合ヲ得テ元手ト拂口トノ

有様ヲ明ニ見ル可キナリ  
 此第二式ニ於テ平均ノ勘定口ヲ立テタルハ元手ト拂口  
 トチ一口ノ勘定ニ集ルノ便利アルガタメナリ又一法ニ  
 ハ其平均ノ差ヲ平均表ノ事實ノ勘定中ニ記スモ可ナリ  
 此法ハ高費ノ用ニモ叶ヒ殊ニ同シ大帳ヲ永ク用ヒ引續  
 テ勘定ヲ記スキニハコノ法ヲ最モ便利ナリトス  
 以上記ス所ノ論説ト其實用トチ了解セシメテ後又大帳  
 ナメ切ルノ順序ヲ説ク可シコノ一事モ亦替古人ノ格別  
 ニヨク註意シテ少シモ間違ナキヤウコレヲ實地ニ施ス  
 可キモノナリ



ノ切ノ順序

第一 大帳ノ面ニ損益ノ勘定口ヲ立テ次ニ平均ノ勘定口ヲ立ツ可シ即チ損益ノ口ニハ損亡ト利益トヲ見ハシ平均ノ口ニハ元手ト拂口トヲ見ハスモノナリ

第二 仕入帳ヲ調ベテ賣捌残品ノ有無ヲ糺シ残品アレバモト其品物ニテ借ト為リタル口々ノ勘定へ残品ノ代金ヲ舉ケ平均ニテトノ文句ヲ朱書ニ記シテ其勘定口ノ貸ト為シ其高ヲ平均ノ勘定口ニ移シテ品物へ或ハ不動産へト墨ニテ記シ其勘定口ノ借ト為ス可シ

第二式ニテ勘定口ヨリ二千五百四ヲ平均ノ勘定口ヘ移シタルガ如キ是ナリ 斯ノ如クシテ後大帳

ノ面ニアル諸口ノ勘定悉皆左ノ四箇条ニ洩ルハモノナシ即チ元手ト拂口ト利益ト損亡トノ四箇条ナリ

第三 元入ノ口ヲ除キ大帳ノ面ニアル初筆ノ勘定口ヨリメ切ヲ始ム此勘定口ノ差列ナルモノハ必ズ前章ニ云ヘル四箇条ノ外ニ洩レザル筈ナレバ其箇条ニ從テコレヲ記ス可シ譬へバ其勘定口ニアル借貸ノ差元手款又ハ拂口ニ係ルナラバ其高ノ少ナキ方へ朱書ニテ平均ヘト款又ハ平均ニテト款記シ置キ其記シタル高ヲ墨ニテ平均ノ勘定口ヘ移シ記ス可シ或ハ又其借貸ノ差利益款又ハ損亡ニ係ルナラバ其高ノ少ナキ方へ朱書ヲ以テ

長合分帳 卷之四 三十一







第六元へノ勘定ヲ平均ノ勘定口へ移シテ其口ノ出ハ  
 平等ニス可シ斯ノ如クスレバ平均ノ勘定口ニ於テハ  
 一方ニ悉皆ノ元手ヲ示シ一方ニ悉皆ノ拂口ヲ示シ其体  
 裁最モ簡約ニシテ正シク高賣ノ有様ヲ見ル可シ  
 平均表  
 商家ノ言葉ニテ平均表トハ高賣ノ有様ヲ一目ニ見ンガ  
 タメニ順序次第ヲ糺シテ事柄ヲ記シタルモノナリ其体  
 裁ハ事宜ニ從ヒ或ハ高人ノ工夫ニ由テ一様ナラズ本書  
 第二十三丁ニ示ス所ノ一例ハ余輩ノ所見ニテ最モヨク  
 体ヲ備ヘタルモノナリ今其和解ヲ左ニ示スガ故ニ學者

コレニ由テ帳合ノタメニコノ表ヲ作ルノ助ヲ得ベシ又  
 事柄ヲ定メテコレヲ記スノ法ハ少シク勉強スレバ誰ニ  
 テモ容易ニ知ル可キナリ  
 第一大用ユ可キ大サノ紙ヲ取り其縁へ朱ニテ線ヲ列キ  
 コレヲ全紙ノ界ト為ス  
 第二上ニ二筋ノ線ヲ引テ名号ヲ記スベキ場所ト為ス  
 一前ノ例ニ示シタルガ如シ  
 第三大帳ノ面ニアル勘定口ノ數ヲ計フ可シ但シコノ  
 數ハ平均改ノ表ニ見ハレタル勘定口ノ内ヨリ差列皆済  
 ノ分ヲ除キタルモノナリ註コノ勘定口ノ數ニ從ヒベシ



シルニテ左右ニ線ヲ列ク可シ其線ノ數ハ商賣ノ主人一  
 名ナレバ勘定口ノ數ヨリモ五筋ヲ増シ或ハ二三人ノ組  
 合商賣ナレバ一人ニ付三筋ツ、ヲ増ス可シ故ニ主人一  
 名ノ商賣ニハ勘定口ノ數ヨリ五筋ヲ増シ二人ノ組合ニ  
 ハ八筋ヲ増シ三人ノ組合ニハ十一筋ヲ増スナリ  
 第四 借貸ノ金ノ高ヲ記スヘキ場所ヲ定ム可シ即チ弟  
 一ハ大帳諸口ノノ高弟二ハ損益弟三ハ元入或ハ組合ナ  
 レバ組合ノ人名弟四ハ元手ト拂口ト是ナリ別ニ又仕入  
 残品ト大帳ノ下數ノタメニ各一箇所ヲ設ク其体裁ハ例  
 ニ示スガ如シ但シコノ場所ヲ定ルニハコンパスヲ用ヒ

名号ト金高ノ數字ト鈎合ヨキヤウニ為ス可シ  
 第五 右ノ如ク場所ヲ定ルニハ假ニ先ツペンシルヲ用  
 ヒ置キ其位置既ニ定ル片ハ右ノ方ヨリ始メテ上下ニ朱  
 ノ線ヲ引キ事實ト元入トノ二箇条ノ筋ヲ列キ下ダシテ  
 左右ノペンシルノ線ノ最モ下ナルモノニ達ス可シ組合  
 ノ商賣ナレバ別ニ又二筋ヲ引クナリ又一人ノ商賣ナレ  
 バ損益ノ箇条ニ二筋ヲ列キ組合ナレバコノ箇条ニモ別  
 ニ一筋ヲ増ス可シ  
 第六 右ノ如ク上下左右ノ線ヲ列キ下ニ又留ノ線ヲ引  
 テ其系線ノ内ニ勘定ヲ書キ記ス可キナリ

長...

長...

三...



第三条ノ註他人トノ勘定口ノ數多クシテコレヲ平均  
 表ニ記スニ一々口ヲ分ツ可ラザル一アラバ諸口ノ勘  
 定ヲニ分チ一ヲ請取口ノ勘定ト為シ一ヲ拂口ノ勘  
 定ト為シ此方ヘ對シテ借ト為リタル人ノ勘定ハ悉皆  
 請取口ヘ集メ此方ヘ對シテ貸ト為リタル人ノ勘定ハ  
 悉皆拂口ヘ集メテ此表ヲ作り尋常ノ高賣ニ差支ナカ  
 ル可シ  
 事柄ノ始末ヲ示スノ法ハ線ヲ列クノ順序ニ同シク其始  
 末ヲ見ルノ法ハ大帳ヲメ切ルノ法ノ如シ但シ大帳メ切  
 ノ法ハ前既ニコレヲ記シタレバ今コ、ニ說辨スルニ及

高賣ニ付世間ニテ用ル惣勘定ノ法ハ一様ナラズ其法ノ  
 異ナルニ從テ又各一種ノ便利アリト虽氏結局其趣意ハ  
 高賣ノ真ノ有様ヲ知り其進歩シテ繁昌ニ趣クノ模様ヲ  
 見ルノ一事ニ在ルノ此書ニ示シタル惣勘定ノ諸法ハ  
 何レモ皆便利ナルモノニテ殊ニ第一式ノ末ニ出シタル  
 法ハ簡約ニシテ其用ハ廣ク帳合ノ學術ニ慣レザル人ノ  
 最モ悅ノ可キモノナリト虽氏今コ、ニ記セル平均表ノ  
 法ハ僅ニ一片ノ紙ニ黻シキ事ノ箇条ヲ載セテ其簡便ナ  
 ルト他ニ比類ナキモノト云フ可シ第二十三丁ノ例ヲ熟

長  
 卷之四  
 三十一  
 三十一



覽セバ其法ノ善美ニシテ學者ノ以テ手本ト為ス可キ價  
 アルヲ知ル可シ都テ勘定家ノ人物ヲ評スルニハ其勘定  
 ノ仕組トコレヲ施シ行フノ精密ナルト否トヲ見テ其人  
 ノ才不才ヲ定ム可キモノナリ若シモ此趣意ヲ誤ル氏ハ  
 假令ヒ其人ニ如何ナル功能アルモ見ルニ足ラザルナリ  
 又紙ニ糸ノ線ヲ引ク術モ或ハ容易ナルコトヤウニ思ハ  
 ルレ氏決シテ然ラズ是亦一ノ執行ナレバコレヲ輕蔑ス  
 可ラス  
 學者執行ノタメトシテ出入差列ノ二例ヲ左ニ示スガ故  
 ニ第二十三丁平均表ノ体裁ニ倣ヒコノ出入差列ヲ集テ

惣勘定ノ表ヲ作ル可シ

# 平均之改

借

貸

元入

請取口手形

朝吹屋

正金

品物(残品ノ高千二百圓)

櫻井屋

湯川屋

平均之改

八八一	五〇〇〇
一五〇〇	一〇〇〇
三〇〇	一七五
五七九四六七	四八〇〇
三五〇〇	二七五九五
四〇〇〇	一八五〇〇
	三八四



雜費

拂口手形

山口屋

三七五八三

一五〇〇

一七五〇

四八三

一七八五一五〇  
一七八五一五〇

第二例

# 平均之改

借

貸

元入

品物(残品ノ高一千圓)

三文屋

美津屋

一四一七八

三〇〇〇

五〇〇〇

三七〇〇

一五〇〇

九五三八四

七五三

木賀津屋

岩津屋

鋏津屋

田丸屋

加久寿屋

正金

雜費

世話料

請取口手形

拂口手形

九〇〇

一一〇

五〇〇

七三二九八

五〇〇

五〇〇

九八三

九七五三二〇

八七四八九〇

四五〇

一八三二二

一七〇〇

一五〇

一五〇〇

五〇〇〇

張給之給

卷之四

三十八



當世屋  
崎水屋  
頓田屋  
羽根多屋  
古論田屋  
喜惠多屋

四〇〇〇	七〇〇	五〇	九〇〇	五〇〇	二九三四〇	九六	二九三四〇	九六	四五九八	八七四

稽古人ノ試業第二番

覺書

二月一日 第三卷ノ最末ニアル大帳ノ勘定ヨリ出来タル平均表ノ元手ト拂口トヲ以テ高賣ヲ始ム即チ其元手ノ高左ノ如シ有金千八百二十二圓二十錢請取口手形ノ高百七十一圓五十錢伊賀屋ノ勘定三百五十圓駿河屋ノ勘定二百二十二圓五十錢相摸屋ノ勘定百八十六圓武藏屋ノ勘定二百九十三圓七十五錢ナリ拂口ノ高ハ三河屋ハ渡ス可キ此方ノ手形ノ高二千五百圓ナリ同日ノ大津屋ヨリコソヒイ一斤十五錢替ニテ二十俵千



六百七十斤。米一斤四錢替ニテ七千五百斤。砂糖一斤五錢替ニテ十五樽。一万四千斤買取リ代金差列

二日 草津屋ヨリ夕ラシ砂糖一升四十錢替ニテ十二樽七石二斗。石鹼一斤八錢替ニテ二十箱千四百五十斤。豚肉

一斤十錢替ニテ十樽二千斤買取リ代現金十圓。三日 水口屋ヘコツヒイ一斤十八錢替ニテ三十斤。米一

斤五錢五厘替ニテ二十斤。砂糖一斤六錢替ニテ百斤賣渡シ代金差列。伊賀屋ヨリ差列。濟切ニテ金一圓請取

四日 筆紙墨代並ニ諸雜費二十圓拂五日 石部屋ヘコツヒイ一斤十八錢替ニテ一俵八十斤。

夕ラシ砂糖一升五十錢替ニテ二斗。米一斤五錢五厘替ニ

テ三十斤賣渡シ代金差列。江戸屋ヨリチイ一斤二十錢替ニテ三百斤。バタ一斤十八錢替ニテ二百五十斤買取

リ代現金。大和屋ヘ石鹼一斤十錢替ニテ五箱三百五十斤。コツヒイ一斤十六錢替ニテ六俵四百八十五斤賣渡シ

代金ハ三十日限り同人ノ手形請取。六日 山城屋ヨリ上茶一斤三十五錢替ニテ四十箱二千

三百五十六斤買取リ代金ハ十日限り此方ノ手形渡ス。岡部屋ヘ上茶一斤三十八錢替ニテ十箱五百八十斤。チイ

ス一斤二十二錢替ニテ百斤賣渡シ代現金

帳合之法

卷之四

四十一



九日 三原屋へバタ一斤二十錢替ニテ五十斤、コツヒイ  
 一斤十八錢替ニテ五十斤、タラシ砂糖一升五十錢替ニテ  
 三斗賣渡シ代現金  
 十日 福岡屋へタラシ砂糖一升五十錢替ニテ三斗米一  
 斤六錢替ニテ十斤、石鹼一斤十錢替ニテ一箱七十五斤賣  
 渡シ代現金  
 十二日 金書記役ノ給料十五圓拂○肥後屋ヨリ粉砂糖十  
 斤十錢替ニテ十五俵二千五百二十斤買取り代金差列  
 十五日 駿河屋ヨリ差引金百圓請取○肥前屋へ上茶一  
 斤五十錢替ニテ五箱二百七十五斤、チイス一斤二十三錢

替ニテ五十斤、米一斤五錢替ニテ二十五斤賣渡シ代金差  
 引○駿河屋へタラシ砂糖一升五十錢替ニテ二斗、石鹼一  
 斤十錢替ニテ三箱二百十斤賣渡シ代金差列  
 十六日 相摸屋ヨリ差引濟切ニテ金一圓請取○長崎  
 屋へ粉砂糖一斤十一錢替ニテ二俵三百三十斤賣渡シ代  
 現金  
 十七日 水口屋へコツヒイ一斤二十錢替ニテ五十斤、粉  
 砂糖一斤十一錢替ニテ百斤賣渡シ代金差列  
 十九日 山城屋へ渡ス可キ此方手形ノ高拂濟ニテ金八  
 百二十四圓六十錢渡ス但シコノ手形ハ二月六日附ニテ



今日引替ノ期限ニ當ルモノナリコノ手形六日付ニテ十日ノ猶豫

ハ通法ナリ  
二十日 嶋原屋へ粉砂糖一斤十一錢替ニテ百斤賣渡シ  
代現金○駿河屋ヨリ差引濟切ニテ金百五十三圓五十錢  
請取

二十二日 肥後屋へ差引濟切ニテ金二百五十二圓拂渡  
○三島屋へ上茶一斤五十錢替ニテ二百二十五斤賣渡シ  
代現金

二十三日 肥前屋へチイス一斤二十五錢替ニテ五十斤  
粉砂糖一斤十二錢替ニテ七十五斤。コッヒイ一斤二十錢

替ニテ十五斤。石鹼一斤十錢替ニテ二箱百四十斤賣渡シ  
代金差引

二十五日 石部屋へ砂糖一斤六錢替ニテ二樽千八百五  
十斤賣渡シ代金差引○富士屋ノ手形濟切ニテ金百七十  
一圓五十錢請取ル但シ此手形ハ先月三日附ニテ三月五  
日渡リノ期限ナリ  
二十七日 店賃百圓拂

惣勘定

稽古人ハ前ノ覺書ニ記シタル取引ヲ帳面ニ扣テ左ノ如  
ク平均ノ差引ヲ作ル可シ



# 平均之改

元入	二五〇〇	三〇四五九五
請取手形	二八四一〇	一七一五〇
正金	三二四二五〇	一九二〇六〇
武藏屋	二九三七五	三〇三五
石部屋	一三七〇五	九六一四五
品物 (残品ノ高二千五百圓)	三〇三六一〇	三三二四六〇
拂口手形	八二四六〇	二二五〇五〇
大津屋	二〇四〇	二二五〇五〇

# 平均之勘定

水口屋	三三五〇	
雜費	一三五	
肥前屋	一八八	
元手	一〇六七四六〇	一〇六七四六〇
品物	二五〇〇	
請取手形	一一二六〇	
正金	一三二一九〇	
武藏屋	二九三七五	
拂口		



石部屋

拂口手形

大津屋

水口屋

肥前屋

元入(現在ノ身代)

平均之致

一三七〇五	二五〇〇	一三八八	四五六八〇
二五〇〇	一、二五〇五	二五三三五〇	四五六八〇
二五〇〇	八三六三〇	一三八八	四五六八〇
二五〇〇	四五六八〇	一三八八	四五六八〇

吟味ノ問題

左ノ問題ニ答フ可キ事柄ハ本書ノ丁數ニ就テ見ル可シ

但シコレヨリ前ノ問題ニハ本文ヘモ番号ヲ附ケタレ氏

爰ニハコレヲ畧ス

第二丁ノ端書

如何シテ此式ハ前式ニ異ナルヤ

身代ノ勘定ニ付其趣向ノ異ナル所ハ如何

商賣品ノ勘定ヲ一般ニ記セズシテ一々其名目

ヲ舉ルハ何ノタメナルヤ

元入ヲ以テ商賣ヲ始ル氏ニハ帳合ノ初筆ニ何



四 事ヲ記スヤ商賣ノ帳ハカニハ勘合ノ味ヲ示ス  
 五 元入ヲ以テ貸ト為スハ何レノ勘定口ナルヤ  
 六 元入ノ勘定口トハ何モノナルヤ  
 七 諸口ノ文字ヲ帳合ニ用ルルハ其意味如何  
 八 此文字ヲ清書帳又ハ大帳ニ用ルルハ何故ナルヤ  
 九 第一式ニ於テ大帳ノ有様ハ如何  
 十 如何ナル訳ナレバ此有様ニテ十分ナルヤ  
 十一 大帳ヲメ切ルノ事ハ何ノタメニ入用ナルヤ  
 十二 大帳ノ勘定ヲメ切ルルハ如何シテ勘定ノ鈎合

十三 本式ノ帳合ニ於テハ勘定ノ種類ヲ幾様ト為ス  
 十四 其區別ハ如何  
 十五 其名目ハ如何  
 十六 事實ノ勘定トハ何モノナルヤ  
 十七 名目ノ勘定トハ何モノナルヤ  
 十八 大帳ヲメ切ルノ趣意ハ如何  
 十九 商賣ニ於テ損益ノ高ヲ直ニ主人ノ勘定口ニ記  
 廿 サズシテ名目ノ勘定中ニ差置クハ如何ナル故



二十 世間一般ノ風ニテ利益ノ高ヲ主人ノ勘定口へ  
 移スハ幾度ヒナルヤ  
 二十一 損益ノ高ヲ主人ノ勘定口へ移スハ大帳ノ面  
 八如何ナルヤ  
 二十二 取引ノ扣ヲ悉皆大帳へ寫シ終リシ上ニテ大切  
 十九箇条ハ何事ナルヤ  
 二十三 平均ノ改ハ何ノ故ヲ以テ帳合ノ正シキ證據ト  
 為ルヤ  
 第二十五丁ノ平均改ハ何事ヲ示スモノナルヤ

二十五 高賣ノ今ノ有様ハ如何シテ見ル可キヤ  
 二十六 元手ハ如何シテ大帳ノ面ニ見ハルハヤ  
 二十七 拂口ハ如何  
 二十八 損亡ハ如何  
 二十九 利益ハ如何  
 三十 是等ノ始末ヲ見シガタメニ設ル所ノ二様ノ勘  
 定ハ何モノナルヤ  
 三十一 損益ノ勘定口ニハ何事ヲ記スヤ  
 三十二 平均ノ勘定口ニハ何事ヲ記スヤ  
 三十三 品物ノ勘定口ヲ見テ残品ノ高ヲ知ル可キヤ



三十四 コレヲ知ルニハ如何セシ

三十五 仕入残品ノ高ヲ調べテコレヲ品物ノ勘定口ノ

三十一 貸付為スルハ此勘定口ヲ見テ何ヲ知ル可キヤ

三十六 勘定ヲメ切ルノ法ハ如何

三十七 勘定ヲメ切テ其差ヲ移スル時高ノ少ナキ方ハ

三十八 勘定ノ平均ヲ移シテ間違ノ有無ハ何ヲ以テ證

三十九 第二平均ノ改ハ何レノ勘定ヲ示スモノナルヤ

四十 損益ノ高ヲ元入ノ勘定口ニ移セバ此勘定口ノ

差ノ高正シク元手ト拂口トヲ記シテ平均ノ勘  
定口ニ見ハレタル差ノ高ニ付合フハ何故ナル  
ヤ

四十一 大帳ヲメ切ルタメニ平均ノ勘定口ヲ設ルハ實

ニ必用ナルヤ

四十二 他ニモ亦其法アルヤ

四十三 大帳ヲメ切ル第一ノ手數ハ如何

四十四 第二ハ如何

四十五 第三ハ如何

四十六 第四ハ如何



四十七 第五八如何

四十八 第六八如何

四十九 第七八如何

五十 第八八如何

五十一 第九八如何

五十二 第十八如何

五十三 第十一八如何

明治九年二月二日版權免許

福澤諭吉

東京第二大區九小區

三田貳町目拾三番地

四十四 第十二八如何  
四十五 第十三八如何  
四十六 第十四八如何  
四十七 第十五八如何  
四十八 第十六八如何  
四十九 第十七八如何  
五十 第十八八如何  
五十一 第十九八如何  
五十二 第二十八如何  
五十三 第二十一八如何  
五十四 第二十二八如何  
五十五 第二十三八如何  
五十六 第二十四八如何  
五十七 第二十五八如何  
五十八 第二十六八如何  
五十九 第二十七八如何  
六十 第二十八八如何  
六十一 第二十九八如何  
六十二 第三十八如何  
六十三 第三十一八如何  
六十四 第三十二八如何  
六十五 第三十三八如何  
六十六 第三十四八如何  
六十七 第三十五八如何  
六十八 第三十六八如何  
六十九 第三十七八如何  
七十 第三十八八如何  
七十一 第三十九八如何  
七十二 第四十八如何  
七十三 第四十一八如何  
七十四 第四十二八如何  
七十五 第四十三八如何  
七十六 第四十四八如何  
七十七 第四十五八如何  
七十八 第四十六八如何  
七十九 第四十七八如何  
八十 第四十八八如何  
八十一 第四十九八如何  
八十二 第五十八如何  
八十三 第五十一八如何  
八十四 第五十二八如何  
八十五 第五十三八如何  
八十六 第五十四八如何  
八十七 第五十五八如何  
八十八 第五十六八如何  
八十九 第五十七八如何  
九十 第五十八八如何  
九十一 第五十九八如何  
九十二 第六十八如何  
九十三 第六十一八如何  
九十四 第六十二八如何  
九十五 第六十三八如何  
九十六 第六十四八如何  
九十七 第六十五八如何  
九十八 第六十六八如何  
九十九 第六十七八如何  
一百 第六十八八如何



福

19-6

著作